

# 新年のごあいさつ

## 美波町長

新年明けましておめでとございます。

町民の皆様におかれましては、ご家族共々ご健勝のうち、この輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は町政各般に亘り温かいしかも深いご理解とご支援をいただき、ありがとうございました。特に、昨秋開催されました第二十二回国民文化祭には、多大なるご協力を賜り、町民の皆様には文化の魅力を再認識・再発見していただくとともに、来町された皆様にも、美波町のよさをアピールできたものと存じております。たくさんの方ボランティアの皆様改めて敬意を込めて厚くお礼申し上げます。

また、昨年五月十二日に高規格「日和佐道路」の北河内 由岐インターチェンジ間（六・二キロ）が供用開始されたことは誠に意義深いものがございます。開通により旧町間の交通時間が短縮されることはもとより、災害時における輸送路の確保、人と人との交流や絆の強まりによる町の一体感の醸成も推進されるものと期待いたしておる次第であります。

さて、今日日本は政治的にも経済的にも不確実な社会情勢にありますし、国の制度や仕組みも大きく変化しております。国で進めております三位一体改革や分権型社会の創造・構築に向けての改革は、本町のような過疎町村にとっては、財源の縮減・縮小につながるといふ大変厳しい状況もございます。

このような状況のなかではありますが、当面の課題としての「医療体制の充実」「自治組織の充実強化」「産業の振興」「交流人口の拡大」「災害に強い町づくり」「ＩＴ基盤の整備」等の施策を重点的に取り上げ推進しているところであります。なかんずく、地域の特性を活かした「産業づくり」の種を模索してまいりました。その一つとして地域ブランドの創造と雇用の場の確保に寄与できる「すじ青海苔」の生産については、試験培養を官民共同による研究を経て、目下実証段階にあります。新年度から収穫量や品質等の検証や求評・市場調査を行い、町の産物の顔として事業化を進めます。

さらにまた、過疎高齢化が急速に進む中、交流人口の拡大に向けて、町民の皆様のご協力のもと、大手民間の資金・ネット力を活用することにより、町内に点在する官民施設の再生や活性化を推進してまいります。

本年も「選択と集中」をテーマに、地域資源の活用や交流の促進等を通じて「小さくとも光る町」として、夢と希望のもてる地域づくりを一步一歩前進させてまいり所存でありますので、昨年にましましてご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年が町民の皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶いたします。